

# 研究シーズ

岩手医科大学

シーズ名	痛みの評価と鎮痛法に関する研究	分類：9
所属 / 職 / 氏名	医学部 麻酔学講座 / 講師 / 大畑 光彦	
キーワード	神経障害性疼痛、癌性疼痛、疼痛評価、神経ブロック、オピオイド	
<p><b>どんな技術？</b></p> <p><b>一言アピール</b> <b>痛みの部位、種類、強さ等を的確に評価し、適切な鎮痛法を提供する。</b></p> <p>痛みの客観的な評価は難しく、ペインクリニックでの治療方針を立てづらくしている。 現在では、患者の訴えを聴きながら鎮痛手段を施す方法をとることが多いため、患者の満足が得られるまで時間を要する。特に慢性痛においては、心因性の要素も含むため疼痛発現機序がさらに複雑化している。これにより治療に難渋することがしばしば生じている。 当施設では、神経ブロックやオピオイドに抵抗性の痛みに対して、抗うつ薬や抗てんかん薬、抗不整脈薬等の鎮痛補助薬を使用している。各種鎮痛法の効果について評価することにより痛みの種類による適切な鎮痛法を確立し得る。</p>		
<p><b>何に使えるの？</b></p> <p>痛みをもつ患者に個々の病態に応じた適切な鎮痛法を迅速に提供できる。</p>		
関連特許		
関連資料等		